

静岡県議会レポート

県庁内 控室 静岡市葵区追手町9-6 TEL054-221-3510
浜松市中央区入野町9860-1 TEL053-440-7100

浜松市中央区 田口 章



創ろう！新しい静岡県

新たな年を迎えました。昨年の静岡県は15年ぶりの新知事誕生という大きな変化の年でした。国内外ともに政治情勢は不確実性を増していますが、いよいよ今年は「新しい静岡県」づくりが本格的にスタートします。

まずは「次期総合計画」の策定です。

12月定例会では骨子案が示されました。年度内に今後4年間の「経営方針」を定め、来年度は具体的な「行動計画」を議論します。「幸福度日本一の静岡県」を創るためのベースとなる計画です。概要は裏面をご覧ください。

次に「令和7年度当初予算」です。

年末に示された調整状況では、リーマンショック時を上回る財源不足が見込まれており、非常に厳しい財政状況となっています。

しかし、借金頼みの財政運営は避けなければいけません。中期的な財政目標を立て目指す方向を明確にして、ビルド&スクラップで事業の選択と集中を進める必要があります。

2月定例会では当初予算案と次期総合計画が議論されます。現実を踏まえつつ、次世代を見据え、新しい静岡県を創ってまいります。

みなさまの声を県政に活かします

○令和7年度当初予算編成に対する政策提言

12月19日、ふじのくに県民クラブは康友知事に政策提言を提出しました。

会派マニフェスト「未来共創」に掲げた5つの政策キーワード「命・環・豊・人・礎」に基づく71の施策と、連携する県内市町の議員から寄せられた現場の声に基づく施策・事業です。

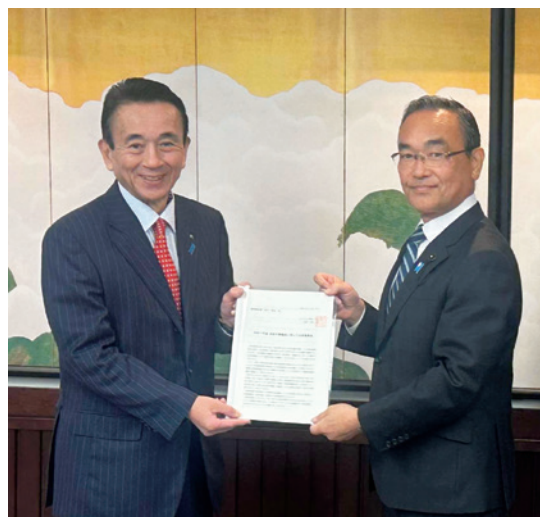
康友知事からは「厳しい財政状況の中、危機感を持って取り組んでいく。提言を活かしていきたい」とのコメントをいただきました。

来年度予算への反映を期待するとともに、県民のみなさまの幸せづくりに資してまいります。

○歳出・歳入の見直しに関する提言

11月26日、政策提言に先立ち、財政健全化を目的とした「歳出・歳入の見直し」を提言しました。人口減少、少子高齢化の中、会派ではここ数年、同様の提言をしています。知事が交代したこのタイミングだからこそ、できることにチャレンジしていきます。

とりわけ厳しい財政事情の中、事業の廃止・見直しは不可欠です。費用対効果を踏まえた見直しや決算乖離の是正、事務の効率化など、今後も会派から提案していきます。加えてハードの見直しです。ファシリティマネジメントを進め、市町や国とも連携して資産経営の最適化を進めていきます。



政策提言



見直し提言



次世代エアモビリティへの期待

康友知事はスタートアップ支援に力を入れています。私ももちろん応援していますが、静岡県の特色を出すためには、ものづくり産業の集積を活かした「ハード系スタートアップ」の支援が重要と考えています。

その中でも私が期待しているのが「次世代エアモビリティ」です。県は「次世代エアモビリティ導入促進ロードマップ(案)」の策定を進めており、「社会実装の促進」と「関連産業の振興」の両輪で取り組む計画です。

紙幅の関係で詳しく書けません。関心のある方は県の「次世代エアモビリティ」のサイトをご覧ください。

県は民間航空事業者と協定を結び、「3次元点群データの活用とフライトシミュレーション技術の向上」、「垂直離発着所の適地選定調査」、「飛行圏の選定調査」などの実装準備を進めています。将来を見据え、県民生活の向上や新産業の集積などによる地域活性化を進めていきます。

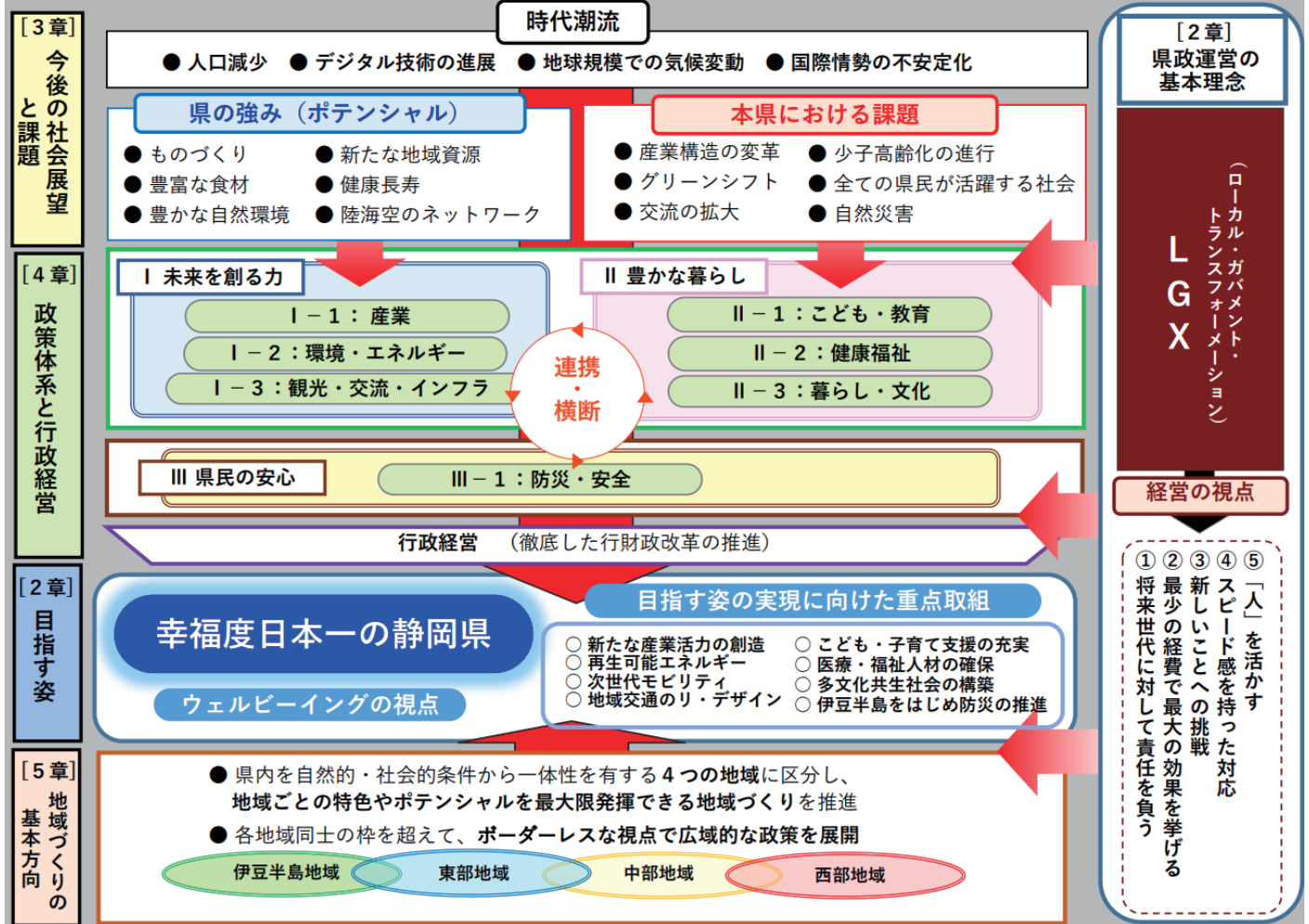
県のサイト



©SkyDrive

静岡県次期総合計画 (概要)

[計画期間 令和7 - 10年度]



FMHaro! 76.1MHz

KENGI DE Night (県議でナイト)

月・木の夜、FM Haroで県政のホットな話題をお届けしています。担当するのは県西部の会派メンバー8人。私は毎月第4月曜日19:30-20:00を担当しています。お聴きくださいね。



創ろう! 元気な浜松 & 静岡県

田口 章は持ち前のフットワークで、元気いっぱい活動しています。日常の活動は、ホームページやブログでも報告しています。インターネットがご利用できる方はぜひご覧ください。



田口 章 で 検 索

